

# JIS

## 人造黒鉛丸形電極のテーパねじの角度及び 有効径測定方法

JIS R 7202 : 2008

(JCA/JSA)

平成 20 年 10 月 20 日 改正

日本工業標準調査会 審議

(日本規格協会 発行)

日本工業標準調査会標準部会 窯業技術専門委員会 構成表

	氏名	所属
(委員長)	植松 敬三	長岡技術科学大学
(委員)	鵜澤 孝夫	硝子繊維協会
	荻原 行正	鹿島建設株式会社
	小澤 宏一	JFE スチール株式会社
	加山 恒夫	黒崎播磨株式会社
	阪井 博明	日本ガイシ株式会社
	永田 康久	東邦テナックス株式会社
	福地 英俊	日本板硝子株式会社
	町田 隆志	株式会社日立製作所
	山内 幸彦	独立行政法人産業技術総合研究所
(専門委員)	村井 陸	財団法人日本規格協会

---

主 務 大 臣：経済産業大臣 制定：昭和 27.10.23 改正：平成 20.10.20

官 報 公 示：平成 20.10.20

原 案 作 成 者：炭素協会

(〒101-0052 東京都千代田区神田小川町 2-3-13 M&Cビル 4 階 TEL 03-5259-0636)

財団法人日本規格協会

(〒107-8440 東京都港区赤坂 4-1-24 TEL 03-5770-1571)

審 議 部 会：日本工業標準調査会 標準部会 (部会長 二瓶 好正)

審議専門委員会：窯業技術専門委員会 (委員長 植松 敬三)

この規格についての意見又は質問は、上記原案作成者又は経済産業省産業技術環境局 基準認証ユニット産業基盤標準化推進室 (〒100-8901 東京都千代田区霞が関 1-3-1) にご連絡ください。

なお、日本工業規格は、工業標準化法第 15 条の規定によって、少なくとも 5 年を経過する日までに日本工業標準調査会の審議に付され、速やかに、確認、改正又は廃止されます。

## 目 次

	ページ
序文	1
1 適用範囲	1
2 引用規格	1
3 用語及び定義	1
4 測定項目	1
5 テーパーねじの角度及び有効径測定器具	1
5.1 測定器具の種類	1
5.2 測定器具の形状及び組合せ	2
5.3 測定器具の寸法, 許容差及び締付けトルク	3
6 数値の丸め方	8
7 テーパーねじの角度及び有効径測定方法	8
7.1 テーパーねじの角度測定方法	8
7.2 テーパーねじの有効径測定方法	10
8 テーパーねじゲージの校正	12
9 報告	12
解 説	16

## まえがき

この規格は、工業標準化法第 14 条によって準用する第 12 条第 1 項の規定に基づき、炭素協会(JCA)及び財団法人日本規格協会(JSA)から、工業標準原案を具して日本工業規格を改正すべきとの申出があり、日本工業標準調査会の審議を経て、経済産業大臣が改正した日本工業規格である。

これによって、**JIS R 7202:1997** は改正され、この規格に置き換えられた。

この規格は、著作権法で保護対象となっている著作物である。

この規格の一部が、特許権、出願公開後の特許出願、実用新案権又は出願公開後の実用新案登録出願に抵触する可能性があることに注意を喚起する。経済産業大臣及び日本工業標準調査会は、このような特許権、出願公開後の特許出願、実用新案権又は出願公開後の実用新案登録出願に係る確認について、責任はもたない。

# 人造黒鉛丸形電極のテーパねじの角度及び有効径測定方法

## Testing methods for taper screw thread angle and pitch diameter of cylindrical machined graphite electrodes

### 序文

この規格は、1952年に制定され、その後6回の改正を経て今日に至っている。前回の改正は1997年に行われたが、今回は2002年に発行された **JIS R 7201** と整合性を図るために改正した。具体的にはテーパねじサイズを追加し、ストレートねじを削除した。

なお、対応国際規格は、現時点で制定されていない。

### 1 適用範囲

この規格は、主として電気製鋼に使用する人造黒鉛丸形電極のテーパねじの角度及び有効径測定方法について規定する。

### 2 引用規格

次に掲げる規格は、この規格に引用されることによって、この規格の規定の一部を構成する。これらの引用規格は、その最新版（追補を含む。）を適用する。

**JIS B 0262** テーパねじゲージの検査方法

**JIS B 4652** 手動式トルクツールの要求事項及び試験方法

**JIS B 7503** ダイヤルゲージ

**JIS R 7201** 人造黒鉛丸形電極の寸法

**JIS Z 8401** 数値の丸め方

### 3 用語及び定義

この規格で用いる主な用語及び定義は、**JIS R 7201** による。

### 4 測定項目

この規格で規定する測定項目は、テーパねじの角度及び有効径とする。

### 5 テーパねじの角度及び有効径測定器具

#### 5.1 測定器具の種類

テーパねじの角度及び有効径の測定には、テーパねじプラグゲージ及びテーパねじリングゲージを用いる。その種類は、表1による。